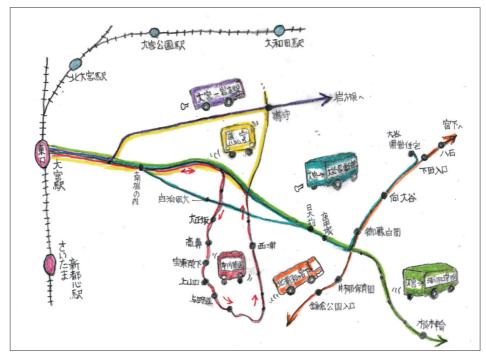




# "不思議な名まえ"の バス停を訪ねて

市営霊園への墓参りや、やどかり情報館に行くとき、私は大宮駅東口から「大谷県営住宅」行の国際興業バスに乗ります。開成高校を過ぎ芝川を渡り、「日大前」…「庚申塚」…「片柳郵便局」…「御蔵白岡」などを経て「向大谷」のバス停まで。年に数回とは言え30年以上このバスに乗っているので、ぼんやりアナウンスを聞くうちに"御蔵白岡って何だろう"と考えるようになりました。御蔵がこのあたりの地名というのは知っていましたが、白岡とは? と思ったのです。でも降りればすぐに忘れてしまうので、それはずっと疑問のままでした。その他にも見沼くらしっく館へ行く途中にあった「根木輪」、別の路線にあった「導守」や「与野道」も"不思議な名まえ"です。今回は、長らく疑問符がついたままだった"バス停の名まえ"を調べてみることにしました。



今回出てくるバス停と路線

さいたま市内には実に多くの路線バスがあります. そのバス停の名まえを見ると、多いのは現在の町丁名や、郵便局・学校・区役所・病院・公園などの施設名、また寺社に関わる名まえ、橋の名まえ、道路名が多いようです。それに加え意外だったのは小字名や旧村名が多いことでした.

「御蔵白岡」も江戸時代に使われていた村の名まえでした。古くは御蔵村と白岡村という別の村だったのが、御蔵白岡村になり明治初期に御蔵村に改称されました。今は御蔵という大字になっています。そう言えば浦和(北浦和)駅から、「御蔵白岡」を経て「岩槻(宮下)」方面へ行く東武バスに、「御蔵騎西屋」「御蔵火の見下」というバス停があったのを思い出しました。



根木輪バス停近く

これらと区別するために「白岡」をつけたのでしょうか. この二つの「御蔵〇〇」は2020年の初め頃までありましたが,21年版の『さいたま市バス路線マップ』から、「鎌倉公園入口」「片柳保育園前」に名まえが変わり、今は「御蔵白岡」だけになってしまいました.

「根木輪」は大宮駅東口から「浦和学院高校」や「浦和美園駅」方面へ行く途中にあるバス停です。旧片柳村にあった小字名で、禰宜谷、根木王なども使われていました。「導守」も大宮駅東口から出ている複数の路線にあるバス停で、旧中丸村(南中丸)にあった小字名です。童子、堂地、童寿、童授なども使われていました。どの地名も語源には諸説あって特定するのは難しいようです。



与野道の庚申塚

「与野道」は大宮駅から出ている「中川循環」にあるバス停で、これも小字かと思ったのですが、そうではありませんでした。与野道というのは"与野へ行く道"なので、中山道のように1本の決まった道ではなく市内のあちこちにあります。『武蔵國郡村誌』という江戸時代の村について調べられる本には、各村の主要な道路も記載されているのですが、与野道は川越道とともに、中山道の西側(西区や桜区など)の村に多いようです。浦和区の常盤には与野道だったと伝えられる道があり、これも中山道から西へ曲

がる道です。浦和宿には「与野道通」という字地もありました。ところが中山道の東側にある見沼区の村々は、岩槻道や原市道が多く与野道は見当たりません。

明治 35 (1902) 年の『埼玉縣営業便覧』の中にある大宮駅付近の図を見ると、吉敷町のあたりに〈与野道〉、今の南銀座通りに〈与野新道〉と記されています.また『Acore おおみや』No.40 (2019 年発行) にも,昭和の初めころの話として「大宮から与野本町へ行くのに,"与野新道" という道路を通って行った……途中に,国鉄の大宮操車場を渡るための踏切があった」という思い出が綴られています.こうしたものを読むと,史料や文書には残っていなくても,地元の人びとにとっての「与野道」や「〇〇道」は至るところにあったのではないか,そんな気がします.

与野道が小字名でないことはわかったので、"与野への道"があるかどうか確認するため、久々に「中川循環」のバスに乗ってみました。芝川を渡ってすぐ右(南)へ曲がり、台地の裾に沿って"中川分水通り"を走る路線です。「与野道」バス停を降りるとバス通りから分岐して西へ行く道があり、曲がり角に庚申供養塔が建っていました。そこには〈文化七(1810)年/北 はらいち二里/東 うらわ壱里〉と刻まれていて、道標となっていたことがわかります。与野とは書かれていませんが、古い道であることは確かです。

帰宅後、明治 18 (1885) 年の地図を確認すると、確かに円蔵院の下の方、現在の与野道バス停あたりから西方へ、上山口新田を横切る細い線があり、その地図記号には「徒小徑」という説明がついています。人が歩けるだけの畔道のような細い道だったのでしょう。その先にある台地上のうねうねと続く道をたど



『地図で見るさいたま市の変遷』より

れば与野まで行けそうです。現在の地図を見ても、この道は山口橋で芝川を渡り、大原や上木崎あたりを抜けて与野へ行くことができます。地元の人びとが"与野道"と言い習わしてきたとしても何の違和感もありません。

「与野道」の読み方ですが、初めて「中川循環」のバスに乗ったとき"次は「ヨノドウ」"というアナウンスを聞いてびっくりしました。ずっと「ヨノミチ」と思ってきたからです。浦和宿の字地「与野道通」には「ヨノミチ」と振り仮名がありました。小字は同じ漢字でも読みが違う例が珍しくありません。地元でどのように言い伝えられてきたかという違いではないかと思います。

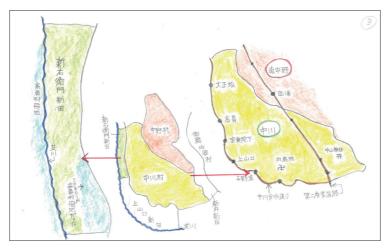


大正坂

改めて「中川循環」のバスに乗ってみて、この路線には他にも「大正坂」「高鼻」「宝乗院下」「上山口」「西浦」など、(私には) "訳のわからない" バス停があることに気づきました。「大正坂」はバス停の近くに坂があり、上り口の石碑に〈大正道〉と刻まれていたので、すぐにこの坂のことだとわかりました。「上山口」は、すぐそばが上山口新田だからでしょう。でも「宝乗院下」は?近くの台地上を探しても宝乗院はみつかりません。「高鼻」は台地のハナ(端・鼻)ということでしょうか? このバス停あたりは、台地と下の中川分水通りとの高低差がとりわけ大き〈思われます。「西浦」になると見当もつきません。中川の町丁名でも大字でもなく、昔の字地でもない――でも停留所の名まえに、その場所と何の関係もない名まえをつけることはないはずです。改めて『武蔵國郡村誌』を調べ直してみました。

「宝乗院」は江戸時代まであった寺(円蔵院の末寺)で、明治4(1871)年 廃寺になっていました。日本全国で多くの寺が廃された頃です。

「高鼻」については、旧高鼻村(大宮区高鼻町)と関連があったのではないか、という考えが芽生えてきました。それは中川村の西隣にある新右衛門新田の項に〈東南は高鼻村飛地……西は高鼻村飛地と見沼中悪水(筆者註:芝川)を隔て、相対し…〉と記載されていたからです。新右衛門新田の中には"東南に高鼻村飛地"があったというのです。バス停はそこに近く、芝川を隔てた"西にある高鼻村飛地"へ行く道もありました。その道の先、芝川に架かる橋は、い



江戸時代の中川村付近略図 参考『大宮市史 第三巻下』

つつけられた名まえかわかりませんが「高鼻橋」です。バス停付近の崖の高さを見ると "高いハナ" も捨てがたいけれど,気持ちは "高鼻村飛地" のほうに引きずられていました。どちらにしても私見ですが……

「西浦」は中川村ではなく東隣にある旧中野村(南中野)の小字でした。バス停は第二産業道路沿いにあり、いつのまにか境を越えていたのです。西浦は東浦とともに各地によくある小字で、西裏や東裏と書くところもあります。大門町(緑区)と下内野村(西区)には西裏と東裏、円阿弥村(中央区)には西浦と東浦、両方がありました。

さかのぼって調べてみれば、どれも "謂れのある" 名まえばかり、他の路線にある "不思議な名まえ" のバス停も、小字名や昔の村名だったのではないかと考えるようになりました。それは「向大谷」(市営霊園の最寄バス停)の先にある「下田入口」の下田や、「八石」も旧大谷村の小字名で、どちらも田んぼに関係する地名だったからです。

そんな観点で見直せば、今まで利用したことのあるバス停にも思い当たる所があります。 桜区の「十石田」や、南区の「辻五反田」「辻島田」です。これらも拾石田、五反田、島田という小字で、田んぽの名残を留めたバス停でした。

現在の町名でも大字でもなく、近隣にそれらの名まえを彷彿とさせる施設も無い、そういうバス停は小字名や旧村名である確率が高いと言えそうです。次回も"バス停"は続きます。 (記 並木せつ子)



その地域で収穫した産物を使用して、風土に適した調理方法で作り食べてきたものを郷土料理と考えるそうですが、埼玉の郷土の食と聞いて何を思い浮かべるでしょうか、小麦の生産量が高かった埼玉では「朝まんじゅう昼うどん」の言葉が農家や庶民に残っているように、うどんやまんじゅうのバリエーションは豊富です。また、秩父地方には「つっとこ」「たらし焼き」「ねじ」など特色ある食が伝えられています。

肌寒くなってきた季節には、秋に収穫した大豆を用いて呉汁を作ります.「呉」とはすりつぶした大豆のこと、大豆は痩せた土地でも十分に育つため、埼玉では自家用としてあぜに植えたり、輪作作物、水田における転作作物として、古くから栽培され人々の身近な食品でした。汁の味付けは味噌が一般的で、加える大豆の量やすりつぶす度合いなどで我が家ならではの味を作り出していたようです。季節の野菜の旨味や栄養が凝縮され、滋味深い味わいは、冬に不足しがちな蛋白源を摂る栄養食としても疲労回復に役立っていました。

(記 浅見 典子)



**←**呉



## ● 呉汁レシピ

大豆をすりつぶして味噌汁に入れるだけ♪

## <材料>

乾燥大豆 70 g / 野菜類(里芋 大根 にんじん ゴボウ レンコン 長ネギ)/油揚げ / 味噌/だし汁 1.000ml 程度

- ① 大豆は水に一晩浸け水を切りミキサー(水 100ml 加える)やすり鉢で粒が残る程度に 潰す
- ② 鍋に切った野菜、だし汁を加え野菜が柔らかくなるまで煮込む
- ③ 油揚げ、呉を入れて混ぜ最後に味噌を溶き 入れてできあがり

野菜が柔らかくなるまで煮て呉を加えればできあがり

# あの街 この街 **俊一郎が行く** Second Vol.39 雪と軽トラと日本海

#### 止むを得ず北陸

12月、キッチンカーはフレーム作りが成功し、外装の取付けに入っていました。しかし、北陸から協力してくれているTプロダクトのメンバーが来たものの、諸々の事情で作業を終えられませんでした。結果、北陸の工場で合わせながら組み付けることに……選べる日取りが少ないことが大きなプレッシャーとなりました。そんな状況下で決断された北陸行き、問題は天気でした。

### 冬将軍

夜中に目が覚めると、スマホで天気予報を眺めていました。予定していた北陸行きはクリスマス前、雪の予報は日々変化します。当初は木曜日の夕方に出発し、夜中に到着して金曜、土曜と作業して戻るつもりでしたが、月曜日の夜中に雪の影響でそれが不可能と判断し、水曜日出発に変更しました。普段は身軽な私も、クリスマスは義兄の洋菓子店の手伝いでカミさんが終日留守になるので、我が家の犬たちをどうするかが問題でした。水曜日の夕方、職場のスタッフと移動のための最低限の外装をしたフレームを軽トラに乗せて行田に住む義理の父母の家に寄って一泊。犬たちを預かってもらい、木曜日の朝から北陸に向かいました。

## 大雪の中で

移動で使う軽トラは、喫茶ルポーズが選んだ10万キロ以上走った中古車. 前輪と後輪の間隔が大きいタイプで、他の軽トラに比べて足元が狭く、小回りが利かない点が不人気と言われるモデルでしたが、高速での安定感は抜群. なぜか新品に交換されたマフラーは、停車すると触媒に熱が入った匂いがして、この車がこれまで過ごしてきた日々に想いを馳せました. 安定感のおかげで懸念していた疲れを感じることもなく、予定より早く北陸に到着. ちらついていた雪は夕方からドカ雪に変わり、その後、丸2日間降り続ける災害級の雪となりました. しかし、無事に工場に届けるという使命を達成し、安心感のほうが大きかったのです. まずは、回転寿司を食べて翌日以降に備えました.



# とまつりしゅんいちろう都祭俊一郎

1975年生まれ. 生まれも育ちも, 東京の下町. エンジュの新築の他, 保育園や幼稚園の設計(新築及び改修) を複数行う. (写真 新 良太)



# 

# 地域拠点. 始動!

地域で集う・つながる"居場所"づくりにご協力お願いします

つなぐ・つくるプロジェクトでは、人と人、人と自然、人と地域社会が「つながる」ことを意識しながら、自然エネルギーや地域巡回事業など、さまざまな切り口で取り組みを続けています。それらの取り組みの拠点となる場所があれば……と願い続けてきましたが、この度念願の「拠点」を持つことができました。

### 「エシカル café としょかんのとなり」

場所は、大宮東図書館(埼玉県さいたま市見沼区堀崎町)に併設された、さ



TT プロジェクト(拠点イメージ図)

いたま市職員研修センター喫茶室、喫茶室を営業する事業所が公募され、申し 込むかどうか、人的にも財政的にも余裕のない中、運営していけるのか……迷 いもありました。ただ、つなぐ・つくるプロジェクトの3年の取り組みの中で、 地域に誰もが立ち寄れる拠点をつくることの意義は大きいと実感していたの で、チャレンジしました、プレゼンテーションの結果、公益社団法人やどかり の里が最優秀提案者となり、12月1日から喫茶室を借りることになりました。 現在 5月のオープンに向けて準備を進めています。

新たな拠点は、「エシカル café としょかんのとなり | エシカル消費・地 域の活性化・居場所づくりを柱に、地産地消や発酵食品など伝統的な食文化の 継承.フェアトレード.ウェルフェアトレードの推進・拡大などに取り組んで いきたいと考えています、私たちにできることは、小さな一歩かもしれません が、その一歩を踏み出す人が増えていくきっかけになればと願っています。ま た. この場所を地域の居場所の1つとして. 多くの人の力を活かしていただき ながらつくっていきたいと思っています.

#### 開店準備資金づくりに力を貸してください

自分のことだけでなく、自分たちの暮らす地域の自然環境を意識し、地域の 人々をつなげる拠点となるカフェを"一"から創っています、資源の有効活用 を模索し、地元工務店協力のもと、端材を利用したテーブルを自分たちの手で 作り、使い込まれた椅子を再利用、購入する設備等もできる限りリサイクル品 を探しています. 環境にも人間にも優しい場所にしていきたいと思っています. そうはいっても、開店に向けては最低でも100万円程の準備資金が必要です。 地域で集い、地域や人とつながるカフェづくりにぜひお力を貸してください。

(記 宗野 文)



### つなぐ・つくるプロジェクトへの 寄付はこちらから

埼玉縣信用金庫 片柳支店 普通預金 0835200 公益社団法人やどかりの里 事務局



クレジットカードも使えます







ホームページ

### 未来を拓く つなぐ・つくるプロジェクト

# ヤギ日誌 番外編

# ヤギたちの里帰り



喜々と楽々は千葉県袖ケ浦の生まれ. 2020 年 12 月にえころも牧場農園で誕生. 翌年4月にやってきた. 2023 年になり, 2 頭が過ごす事業所の外壁と屋上の改修工事が始まることになり, 3 か月近くえころも牧場に里帰りした. 喜々と楽々が生まれ育ったえころも牧場の牧場主, 羽原寛人さんに2 頭の近況を聴きつつ, サラリーマンから新規就農された羽原さんに牧場にかける思いなどを伺った.

喜々と楽々は元気にのんびり過ごしているものの、警戒心が強く、なかなか近づかせないとのこと、「こちらに来たばかりの頃は寂しそうでした。かわいがられて育ててくださっていますね」と羽原さん。

えころも牧場農園は株式会社ころもアニマル事業部に位置づく. 羽原さんは 大学では畜産を学び, サラリーマン生活をしつつもいつかは新規就農をと胸に 秘めていた. 子どもの頃から動物が好きでいつか牛飼いになりたいと……. 牛 は穏やかで自分のペースで生きているところに惹かれたという.

新規就農の準備を始めたものの、牛の購入価格が高騰し、いったんは挫折. アパレル系のお仕事をされていた連れ合いの方がブランド品のリサイクル事業 を始められ、それが株式会社ころもにつながった。南青山にお店を出すほど好







念願のジャージー牛

調だった事業が、今般の COVID-19 の感染拡大の影響を受け、事業縮小を余儀なくされ、再び山暮らしを始めるチャンスが到来、現在は 2,000 坪ほどの敷地に念願の牛 2 頭、ヤギ 30 頭ほど、たくさんの犬たち、豚 1 頭、烏骨鶏等々と共に暮らす、「企業人として働いていれば、働けばお金が入ってくる。しかし、お金を求めると人間は満足できないのですね、出会う人が変わってきたのが不思議です」と羽原さん(写真)。

私たちも初めてのヤギ飼いになり、戸惑うこと、不安になることもあったが、 その都度相談にのっていただき、2頭を育ててきた. 地域の人たちにも愛され ている

写真は喜々と楽々の父ヤギ(クロマティ)と母ヤギ(さくら). 2頭の里帰り中に遊び場をつくり、2頭の住処の住み心地も向上した. 羽原さんは「ヤギには不思議な力がある. 神々しい佇まいを感じませんか. あの鳴き声にも癒されます」と語る. 2頭が戻って来て近所の子どもたちも遊びに立ち寄る姿が見えるようになった. 喜々と楽々がいる風景が私たちの日常なのだと改めて感じる今日この頃だ. (記 増田 一世)



父ヤギ クロマティ



母ヤギ さくら(前方)



\*喜々と楽々は異母きょうだい.<br/>
楽々(12/18 生まれの雌). 喜々(12/20 生まれの雄)

アニマル事業部 えころも牧場農園(千葉県袖ケ浦市内)

HP https://www.colostrum.jp

アニマル事業部 Heritage Honest Kennel

HP https://www.heritage-honest.jp

# インフォメーション



TEL: 0120-156365 (フリーダイヤル) https://www.mainichikogyo.co.jp

# 片柳地区社会福祉協議会

つながりを大切に活動しています



048 (686) 8601

開設時間 月曜日~金曜日 10 時から 16 時





インフォメーションコーナーの 掲載広告を募集しています!

1マス (64mm×46mm) 5.000円



## ◆やどかりの里職員募集

やどかりの里では、職員を募集しています.

- ●非常勤(调3日程度)
- ●正職員(新卒・中途採用)
- \*要普通自動車免許

詳しくはやどかりの里法人事務局までご連絡下さい. お問い合わせ) やどかりの里法人事務局 048 (686) 0494 すべての人々が人間らしく豊かに育ちあえる地域づくりをすすめるために

こうぬまふくしかい

# 社会福祉法人鴻沼福祉会

# こころを込めた手づくりの品をぜひ一度お試しください



とうふ屋一豆

TEL 048-854-8000 FAX 048-854-3538 さいたま市中央区上峰2-10-20

つばさ共同作業所とそめや共同作業所が手がける、国産・手づくりにこだわった本格とうふ。 宮城県産高級大豆「ミヤギシロメ」を100%使用し、オリジナル惣菜も人気です。 大豆本来の濃厚な甘さとコクを味わえる"小さなぜいたく"を食卓にお届けします。

# きりしきのパン

TEL 048-854-6910 FAX 048-854-6942

さいたま市中央区円阿弥1-3-15 鴻沼福祉会館内

きりしき共同作業所のパンは食の安全・安心にこだわり、原材料に国産小麦粉を 使用しています。(一部商品を除く)

職人とともに手がけるパンは、少し懐かしい味と香りがします。





# 弁当屋 いちず

TFI • FAX 048-684-1257 さいたま市見沼区染谷2-145

そめや共同作業所のお弁当は旬を感じる手づくり弁当です。 野菜をたくさん取り入れ、手が込んでいると女性に大人気です。

#### 鴻沼福祉会から読者の皆様へ

○鴻沼福祉会では、袋詰め・部品組み立て作業や清掃作業、資源回収など、地域の企業様のニーズに応えるべく様々な仕事を受注しています。働くことをとおして障害のある人がさらに輝けるチャンスを求めて新しい仕事にもチャレンジしつづけています。

○障害のある人たちの就労支援、生活支援、相談支援のスタッフを募集しています! 問い合わせ先:048―854―6890 (担当オガワ)

#### 鴻沼福祉会事業所一覧

- ●本部 事務局 埼玉県さいたま市中央区円阿弥1-3-15 鴻沼福祉会館内 TEL: 048-854-6890 FAX: 048-856-0313
- 《はたらく》●つばさ共同作業所(中央区) ●あざみ共同作業所(見沼区) ●そめや共同作業所(見沼区) ●きりしき共同作業所(中央区)
- 《くらす》●第1たかさご荘 ●第2たかさご荘 ●第3たかさご荘 ●かえでホーム ●かりんホーム ●よつばハイツ
  - ●なつめホーム(以上、中央区) ●のそみホーム(見沼区) ●7)かりホーム(两区)
- 《ささえあう》●中央区障害者生活支援センター来夢 ●地域活動支援センター来夢(以上、中央区)
  - ●見沼区障害者生活支援センター来人(見沼区)

# さいたま見沼よみさんぽ

## 編集後記

春らしい陽気が続き、初夏ももうすぐそ

よみさんぽ 45 号のお届けです.

今号から、本誌の表紙は編集委員が担当 することとなりました.

長年,写真家の柿内未央さんに表紙を飾っていただき,その素敵な写真を楽しみにしていた方も多いのではないでしょうか.

雰囲気は変わりますが、その変化を温かく見守っていただけますと幸いです.

表紙写真を撮りに、自転車でバス停沿いを走りました。

普段何気なく通り過ぎる道も、「このバス停はこんな名前だったんだ」と気づいたり、バス停近くの風景に温かさを感じたり ……「バス停」の歩みに思いを馳せる時間となりました.

ぜひ皆さんも、今号を手にバス停をめ ぐってみてはいかがでしょうか。

(表紙写真・記 萩崎千鶴)



公益社団法人やどかりの里



やどかり出版



よみさんぽバックナンバーはこちらから ご覧いただけます



公益社団法人やどかりの里



https://www.yadokarinosato.org/kouhou/yomisanpo/

さいたま見沼よみさんぽ 第45号 発行 2023年4月

編集 「さいたま見沼よみさんぽ」編集委員会 〒 337-0026 さいたま市見沼区染谷 1177-4

Tel 048-680-1891 Fax 048-680-1894 E-Mail johokan@yadokarinosato.org https://www.yadokarinosato.org/ 発行 公益社団法人やどかりの里

理事長 増田一世

印刷所 やどかり印刷

公益社団法人やどかりの里は、この大宮見沼界隈で障害のある人たちとともに地域で生きることを目指して活動を続けています. 私たちは長年この地域で活動し、地域の皆さんに支えていただいてきました.

そして、この地域の人々が織りなしてきた歴史・文化、守り育ててきた自然、地域に根づいた事業等々をもっと知りたいと思うようになりました。合わせて、やどかりの里のことも皆さんにもっともっと知っていただきたいと「大宮見沼よみさんぽ」を創刊いたしました。またこの度、広く地域情報をお届けするため「さいたま見沼よみさんぽ」と改題致しました。

「さいたま見沼よみさんぽ」編集委員一同